

平成 30 年度 B4 新人研修課題 報告書

2018/4/25

高橋 桃花

1 概要

本資料は平成 30 年度 B4 新人研修課題の報告書である。新人研修課題として、SlackBot プログラムを作成した。本資料では、課題内容、課題を通して理解できなかった部分、課題の中で作成できなかった機能、および課題として自主的に作成した機能について述べる。

2 課題内容

課題内容は、Ruby による SlackBot プログラムの作成である。なお、本課題で使用する Ruby のバージョンは 2.5.1 である。

- (1) 任意の文字列を発言するプログラムの作成
- (2) SlackBot プログラムへの機能追加

3 理解できなかった部分

理解できなかった部分は以下の 2 点である。

- (1) Google Places API が取得する写真やレビューの順序

4 作成できなかった機能

作成できなかった機能は以下のとおりである。

- (1) 指定した Outgoing WebHooks 以外からの POST を拒否する機能
- (2) 大学や公園など、飲食店以外の場所の情報を、適切なフォーマットで返信する機能 Google Places API が返却する情報の項目の中には、場所の属性によっては値が存在しないことがある。たとえば、岡山大学の情報には、価格帯の情報は存在しない。
- (3) ユーザが入力した場所に関して、現在地を起点に場所を検索する機能

5 自主的に作成した機能

以下の機能を自主的に作成した。

(1) 入力された飲食店の情報を返信する機能